


2024. 2 . 21 (水)
会場:竹野地区コミュニティセンター
多目的ホール

豊岡市立 小中学校適正規模・適正配置計画

保護者対象

竹野地域
小中一貫校検討状況報告会



豊岡市教育委員会事務局



1

次第

- 1 あいさつ
- 2 竹野地域小中一貫校開設準備委員会での検討状況について
- 3 特色ある教育の検討について
- 4 学校施設の整備内容（予定）について
- 5 意見交換・質疑

2

1 あいさつ


3

2 竹野地域小中一貫校開設準備委員会での検討状況について

4

開設準備委員会の経過

開催日	内 容
2023年2月24日	第1回開設準備委員会 ・正副委員長の選任 ・開設準備委員会での検討項目について ・今後の予定
5月26日	鳥取市立江山学園視察
6月26日	第2回開設準備委員会 ・視察の報告、感想を発表 ・義務教育学校についての意見交換


**義務教育学校について、保護者にもっと
知ってもらいたいとの意見**
7月24日 保護者説明会を開催

5

開設準備委員会の経過

開催日	内 容
2023年8月30日	第3回開設準備委員会 ・学校種の検討 ⇒「義務教育学校」が望ましい ・校名・校歌・校章の検討 ⇒校名…子どもたちから募集 ・部会の設置
9月22日	定例教育委員会会議 ⇒義務教育学校とする方針を決定
10月18日	第1回学校応援部会 ・コミュニティ・スクールについて ・PTA分科会 ⇒制服の検討を開始

6

開設準備委員会の経過

開催日	内 容
11月1日	第1回教育課程検討部会 ・ワークショップを開催（12/18、2/7）
12月4日	第4回開設準備委員会 ・学校名の選考について ⇒校名候補を3点に絞り込み ・学校応援部会、教育課程検討部会の協議状況 ・校舎整備の概要（案）について
12月22日	定例教育委員会会議 ⇒学校名を「豊岡市立竹野学園」とする 方針を決定 ※議会で正式決定するまでは（仮称）を付記する

7

検討結果①

学校種は「義務教育学校」に

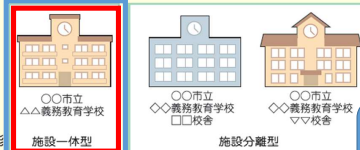
8

小中一貫教育を進める3つの類型

① 義務教育学校（新たな学校種）

- ・修業年限9年（前期課程6年・後期課程3年）
- ・校長は1人（副校長（総括担当）1人を配置）
- ・教員は原則として小・中免許を併有（当方は併有していなくても勤務可能）
- ・施設の一体・分離を問わず設置可能
- ※〇〇学園など、義務教育学校以外の名称を用いることも可能

【設置イメージ】



委員会で検討

(検討結果)
義務教育学校とすることが望ましい

② 併設型小学校・中学校

- ・小・中学校が同じ設置者
- ・修業年限は小・中学校と同じ
- ・校長は各学校に1人
- ・教員は各学校に対応した免許を保有
- ・施設の一体・分離を問わず設置可能
- ※小中一貫教育を担保するための組織運営上の措置が必要

【設置イメージ】



③ 連携型小学校・中学校

- ・小・中学校が複数の設置者
- ・修業年限は小・中学校と同じ
- ・校長は各学校に1人
- ・教員は各学校に対応した免許を保有
- ・施設の一体・分離を問わず設置可能
- ※小中一貫教育を担保するための組織運営上の措置が必要

【設置イメージ】



兵庫県：小中一貫教育リーフレットより

義務教育学校と小中一貫型小・中学校の違い

	義務教育学校		小中一貫型小学校・中学校	
			中学校併設型小学校 小学校併設型中学校	
施設の形態	施設一体型	施設分離型	施設一体型	施設分離型
修業年限	9年 (前期課程6年、後期課程3年)		小学校6年、中学校3年	
組織・運営	一人の校長、一つの教職員組織		それぞれの学校に校長、教職員組織	
免許	原則 小学校・中学校の両免許状を併有 ※当面の間は小学校免許状で前期課程、 中学校免許状で後期課程の指導が可能		所属する学校の免許状を保有	
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・9年間の教育目標の設定 ・9年間の系統性・体系的に配慮がなされている教育課程の編成 			
特色	独自教科の設定	○	○	○
	乗り入れ授業	◎	△移動に課題	○調整に課題

義務教育学校
最大の特徴

一人の校長、一つの教職員組織

- ・指揮命令系統が一本化され、明確になる
- ・教員同士で児童・生徒の情報を共有しやすく継続的な指導が可能
- ・乗り入れ授業や教科担任制の導入が行いやすい

鳥取市立江山学園への視察

【ブロック制】



主な取組

- ① 9年間を使ったよりダイナミックな取組
より系統性を考えた指導が可能に
- ② 相互乗り入れ授業
中学校教諭 ⇒ 前期課程の授業（より専門的に）
小学校教諭 ⇒ 後期課程の授業（きめ細やかに）
- ③ 5年生から50分授業を導入
45分授業から徐々に慣れていくよう工夫
- ④ 江山かがやき科
総合授業（地域のことを調査・体験）+ 探求
ICTを活用した探求的な学び
- ⑤ 4-3-2制の導入
子どもの発達状況にあった教育
リーダーシップを発揮できる機会が増える

義務教育学校で目指したいこと

9年間の連続性を生かした小中一貫教育

- ① 中1ギャップの解消
- ② 9年間を通じた指導・見守り
- ③ 専科指導による学力向上
- ④ 学習のつまずきを速やかに解消
- ⑤ 竹野ならではの特色のある教育

広い年齢間交流による情操教育、多様な考え方ができることの学び

- ① 上級生への憧れ
- ② 下級生へのいたわり、手本を示す心構え
- ③ 地域の方への感謝
- ④ より多くの人とのふれあいにより多様な考え方ができることの学び

教職員組織の一体化によるメリット

- ① 教職員の相互理解・相互協力
- ② 組織一丸となった学校行事対応
- ③ 前期課程、後期課程の教師の指導力向上
- ④ 働き方改革への対応

検討結果②

校名は「(仮称)豊岡市立竹野学園」に

13

校名募集

児童・生徒から 43人、62点の応募

校名の選定

開設準備委員会で3点に絞り込み

- (1) 豊岡市立 竹野学園
- (2) 豊岡市立 竹野小中学校
- (3) 豊岡市立 竹野なぎさ学園

最終候補の選定

教育委員会会議で「豊岡市立 竹野学園」を最終候補に ※正式決定までは仮称を付記

正式決定

今後、市議会で正式決定

関連条例の

改正案を市議会に諮り、議決をもって正式決定とする予定。
(目安として2024年9月または12月議会)

14

現在の動き

3つの部会に分かれて、具体的な検討をすすめています

① 学校応援部会

② 教育課程検討部会

③ 指導運営部会

を設置

15

学校応援部会（PTA分科会）での制服の検討



学生服のメーカーを講師に招いての制服勉強会 (11/27)



- 「制服が必要か」から検討
- 制服を導入するとしたら…
 - ・ジェンダーレスなもので
 - ・保護者負担の軽減にも考慮

16

教育課程検討部会
地域で育てたい子ども像の共有のためのワークショップ



第1回 ワークショップの様子 (12/18)



【テーマ】

- ・義務教育学校で どんな力をつけて欲しいか
- ・子どもたちに どんな学習内容を学ばせたいか ほか

教育課程検討部会
地域で育てたい子ども像の共有のためのワークショップ

第2回 ワークショップの様子 (2/7)



兵庫教育大学大学院
安藤先生による講演



【テーマ】子どもたちにどんなことを学ばせたいか
～ワークショップからの提言～

第2回ワークショップで
出された意見

子どもたちに
どんなことを学ばせたいか

- 川下り
塩づくり
- 防災
- 地域のPR・観光案内 (英語で)
- 英語力 (コミュニケーション)
- しめ縄づくり
なごみの灯り
- 疑問を持つ力
ここから考えてより良く発展させる力

...e.t.c



ワークショップの結果
はこちら (市HP)



3 特色ある教育の検討について

ワークショップ等で、皆さんからいただいた意見をもとに、「特色ある教育」の具体的な検討を進めます

竹野地区ならではの
教育内容

竹野の子どもたちに
身につけてほしい力

先進事例では・・・

鳥取県 鳥取市立福部未来学園 教育課程の特例「みらい」	福部町の人・もの・ことを教材とし、福部未来学園だからこそできる「ふるさとキャリア学習」を実施。 体験的な学習を通して、自己や社会のよりよい未来について主体的に考え、広い視野をもって活躍できる力を育む。
千葉県 市川市立塩浜学園 「塩浜ふるさと防災科」	ふるさと塩浜の歴史や自然環境に触れて理解を深め、自然災害発生を想定し、それに備えて地域の方々と協力しながら自ら考え自ら進んで活動することで、地域に誇りや愛着を持った思いやりのある豊かな心と自主的に問題解決を行うたくましく生きる力を育む。
東京都 品川区立品川学園 「英語科」、「市民科」	「英語科」…前期課程の第1学年から設定。異文化理解を進めるとともに、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの4技能をバランスよく兼ねそろえ、実践的コミュニケーション能力を身に付けることをねらう。 「市民科」…全学年に設定。道徳、特別活動、総合的な学習の時間を統合し、「ソーシャルスキルトレーニング」や「経済体験学習」など、実学的な要素を取り入れ、実際の社会で生かせるような本物の意味での生きる力を育む。

その他、こんな学校も・・・

長野県 上田市立菅平小学校 菅平中学校	「総合的な学習の時間」を削減し、小学校1年～中学校3年に「スキー科」を、小学校1～4学年で「外国語活動」を、中学校1～3学年で「英会話科」を実施。
---------------------------	---

21

兵庫教育大学院 安藤先生より

例えば 教科等横断学習 ～STEAM教育～

単なる体験活動にとどまらず、
教科との関連付けを行うことで深い
学びや発展性を意識づける



という考え方について…

ワークショップでの意見を教科と関連付けると…

いかだ下り、竹野川

⇒ 環境問題、地理、地学、防災

しめ縄づくり

⇒ 歴史・伝統・風俗（信仰）

塩づくり

⇒ 塩分濃度（理科）

STEAM

- Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Arts (芸術・リベラルアーツ)、Mathematics (数学) による文理融合の学び
- STEAMの各分野が複雑に関係する社会、単一の分野では解決できない複雑な時代

22

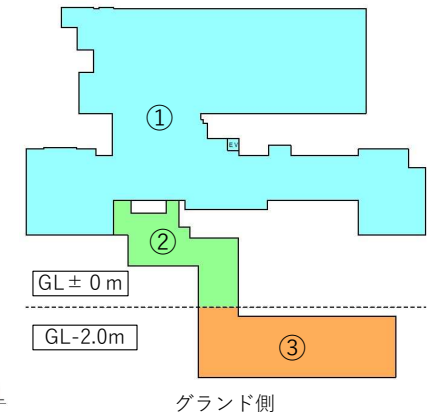
4 学校施設の整備内容(予定)について

(1) 施設概要

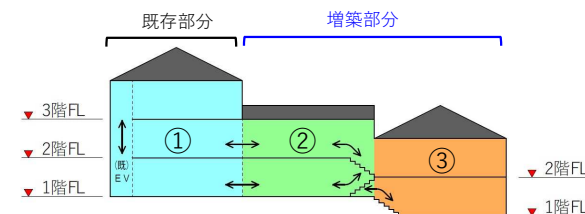
竹野中学校を最大限に生かした
施設一体型義務教育学校の校舎

施設名称	構造	主な部屋	床面積(m ²)
① 既存 校舎棟	RC造3階建て		6,090
② 増築 渡り廊下棟	RC造2階建て	渡り廊下・保健室	1,722
③ 増築 低学年棟	RC造2階建て	普通教室・音楽室	
合計			7,812

■平面計画図



■断面計画図



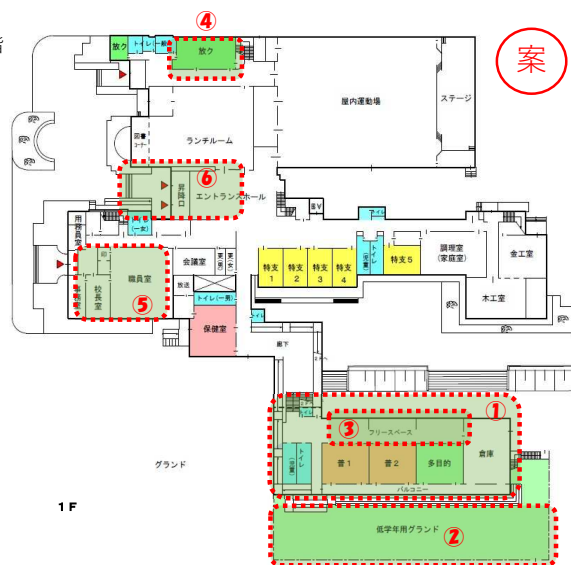
23

24

(2) 配置概要

- ① 竹野中学校のグラウンド部分に
小学校低学年棟（1～4年生）を新設
・木質系の材質を使用し、ぬくもりのある空間に
- ② 低学年棟のすぐ前に、児童向けの遊具を整備
- ③ 低学年棟の廊下には図書コーナー等を整備
- ④ 放課後児童クラブを体育館付近に整備
- ⑤ 職員室はすべての教職員が入れる規模に拡充、
連携を強化
- ⑥ 全学年共有の昇降口
・自然に元気なあいさつが飛び交う空間に
・先生による声掛け・見守りも行いやすく
・バリアフリー化

■ 1階



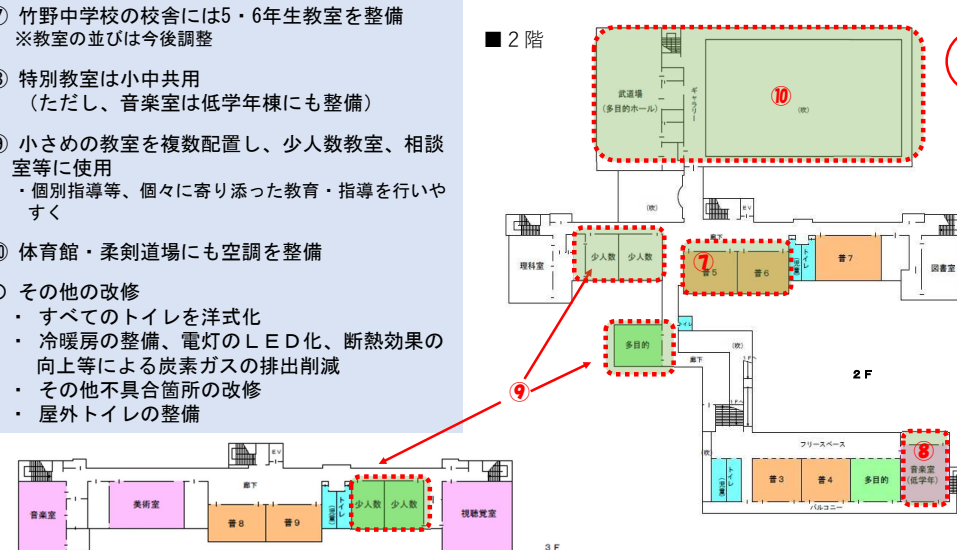
25

- ⑦ 竹野中学校の校舎には5・6年生教室を整備
※教室の並びは今後調整

- ⑧ 特別教室は小中共用
(ただし、音楽室は低学年棟にも整備)
- ⑨ 小さめの教室を複数配置し、少人数教室、相談室等に使用
・個別指導等、個々に寄り添った教育・指導を行いやすく
- ⑩ 体育館・柔剣道場にも空調を整備

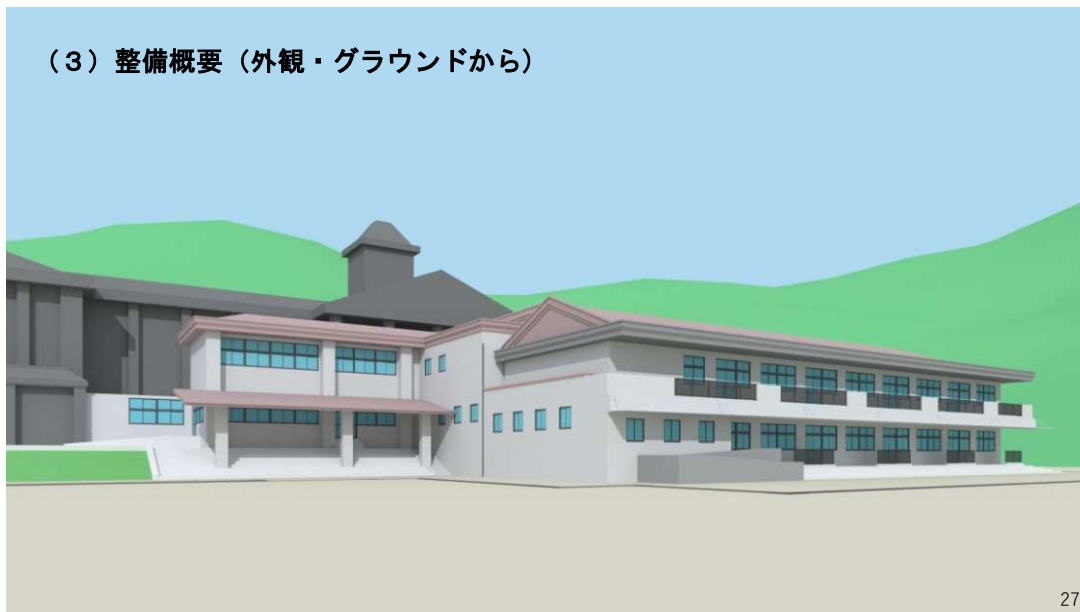
- その他の改修
 - ・すべてのトイレを洋式化
 - ・冷暖房の整備、電灯のLED化、断熱効果の向上等による炭素ガスの排出削減
 - ・その他不具合箇所の改修
 - ・屋外トイレの整備

■ 2階



26

(3) 整備概要（外観・グラウンドから）



27

(3) 整備概要（教室）



28

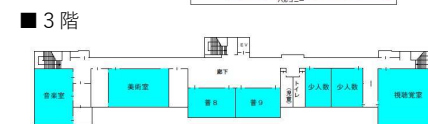
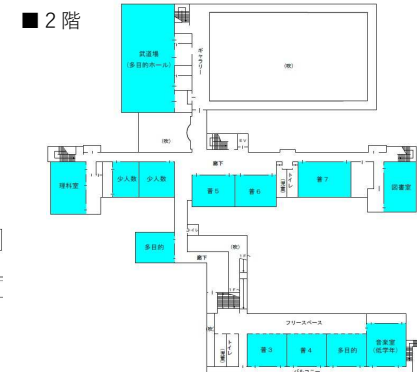
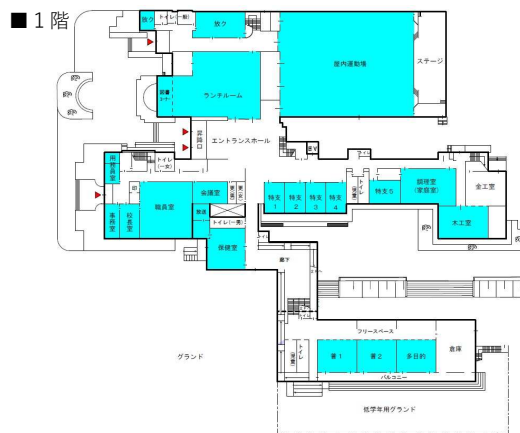


低学年グラウンド整備（ゴムチップ舗装）



※イメージ写真

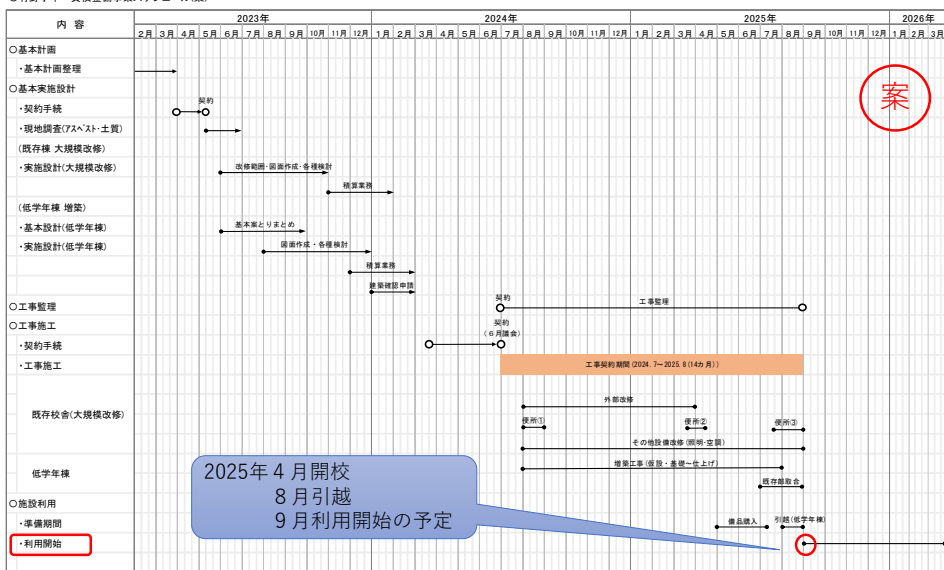
(4) 改修概要（エアコン設置箇所）



5 意見交換・質疑

- 本日説明のあった内容等についてのご意見をお聞かせください。**（特に特色のある教育内容について）**
- ご発言の際は、マイクをお持ちするまでお待ちください。

○竹野小中一貫校整備事業スケジュール(案)



案

【意見交換:参考】

12/18 第1回 ワークショップテーマ②

義務教育学校でどんな力をつけてほしいか

(例)

主体性・自立性

学びに向かう力

課題解決力

グローバル化に
対応する力

コミュニケーション力

情報活用能力

※上記の例は、竹野中校区小中一貫教育ランドデザインで育てたい資質・能力の項目です。
また、経団連が実施している「企業の求める人材像と採用動向」の調査結果でも上位を占めているものです。

【意見交換:参考】

12/18 第1回 ワークショップテーマ③

子どもたちにどんな学習内容を学ばせたいか

各教科（道徳含む）

教科以外

その他